

バストス週報

第八四号
昭和四十二年
四月十四日
発行

DIRETOR
KOITI MORI
REDATOR
SHION ODA

RUA PRES.
VARGAS 188
C. POSTA. 112
FONE 4-0
BASTOS.
C. P.

ANUAL
N. C. R. #
5.00

Nº 884 BASTOS 14 de ABRIL de 1967. O PROGRESSISTA Reg. Nº 2595 SAO PAULO. A. P.

旋風 15

もう一つの表情
(バストス養蚕家の場合)

△「毎度流通のことはかりで申わけないが、何とかして農家の窮状が判つてもらえないものかねエ。パウリスタ新聞も週報の記事を取り上げて、バストスの養蚕家は今にも窒息状態にあることに同調してくれ、識にありがたいんだが、心ある為政者の汲むところ……」とはならんかね

△「新聞で見た話なんだが、聖州の予算は六億新拜の赤字だというではないか。アデマールさんもひどい見当ちがいな政治をやつたもんだが、新時事も、この宛理に心を痛めてるだろう。新税があるたつくのも赤字財政の克服に関係がある。農人を殺して赤字の穴にほりこむのは惨酷だが、さりとて財政の目標なしには州政も郡政も成り立たないだろう」

△「だつて君、バストス市中の道路が舗装されるのは、よいとして、それが養蚕家の血を絞つた税金だと考えると、そんな道路もつたいなくて踏んで歩けないよ。全伯の農人の生活を脅かして前進する政治のそれはあり得ないと思うがな」

△「それは物の見方があまりに近視眼的だ。まだ解決してはいないが、解決点に到達しようとして政府側も懸命に努力している。僕はあまり遠くない将来に必ずこの新税問題の解決が生れるものと信じている。期待できる筋と読んでいいんだ」

△「同じ農業でも養蚕となると、同様新税を怨んでるが、その雰囲気となると、いくらちががっていると思う」
△「それならファイアソンの事にふれて見よう。養蚕家は荷を出荷するだろう。流通税はどうなつていく」

△「そりや勿論支払っている。オペラチバと同じで生荷は全部製会社へ集荷される。タロン一本でくくられてしまふから、品質、数量、単価、総額一目瞭然たるものだ。おまけに絶対脱売りは出来な

いね。オーボなら生産者対消費者の取引をやろうと思えば出来るし免税されるが、荷はそんな器用なわけにはいかない」
△「税率は？」
△「十五%だ。オーボの出荷とちがって

HOTEL USSAMI



御泊りと
お食事はウサミで
和洋料理一切
御宴会
お仕出し

美し
江戸前
大阪風

バストス ロードビアリオ前
うさみ
電話 二十二

Sapataria Bastos

FONE 55

御婦人の靴
学生の靴
紳士の靴
靴のことなら
最古の信用を誇る
ハマカワてお迷ひ下さい



早川靴店

電話 五十五

生荷は製糸会社へ出荷しても試験びきか
清まぬと買価が定まらぬ。大ていは出荷
と同時に何割かを前払してもらい、一ヶ月
以内の精算されるが、その時、流通税
を差引かれる仕組みだから、まあさうひど
く手痛いことはないという
△「それに養蚕とちがって飼料に金を支

私うことがないから、楽だろうな」
 B「ところが養蚕家にいわせると、そう云われないね。トリの方は飼料をあてがってあげばオトボを産んでくれるからいいが、蚕の方は桑を育て、これを刈って給桑する。一齡から五齡をすぎ、上簇する迄の廿四五日というもの大半不眠不休の勞働だ。家族中の勞力を金に見つゝもると、最賃に当らぬというのだね。だから、せめて一日三コント以上の日給にならぬとうれしくないんだ」

A「では、今商はいくら位するんだ」
 B「製糸では平均二コント七五位になる」とい、養蚕家の方はそんなにならぬ」
 A「では、いくらならいいのかね」
 B「そうさな。キロ三コント以上の線が出るだろうな。そりや、今までだつて双方が満足しあうという事はなかつたんだ。それと養蚕家がくさいが、つている点は、蚕種が今年から一グラム五コントと有料になつたことにもある」
 A「今まで無料であつたが、ただだと粗末にする、などという事から有料にしたとは聞いたが、一グラム五コントなら安くはないか」

B「勿論適正なプレッソだろが、百グラム飼うと五百コントだぜ。三百グラム掃く大手筋は一千五百コント……こうなると養鶏がピントを入れる時と同じ心理になる。ただちがうことは、精算の時デスコントされるから、心持の上では安易さがある」
 A「だつて、不作でもしたら大変なことになるな。養蚕家の身になると、上からは流通税、下からは蚕種料と、圧力がかかるわけだ」

B「今ではタネがいいし、養蚕家も技術的に向上しているので、運作などはないぞうだ。又板ばさみを緩和する方便として、プレッソをさばつているといふんだが、この点では双方がツチリ四つに組んでエイヤ、エイヤともみ合つていゝ……」
 A「この時点は会社側の方が客観情勢から有利だと思ふんだがな」
 B「そりや又、どういうわけだ？」
 A「さればさ。ここは君ら素人衆には説明がいろいろだろうな」

「そもそも、良い地といわれている外でも長年使い古すと肥沃度が下がる。ミリヨ、メンドイン、とやつていゝ肉、無肥料ではいかなくなる。次の手は桑園だ。さんざ使つた土地でも桑となると又相当使えるので養蚕という次第だ」
 現に、これは実現されつつある。だからブラ拓さんとしては、バストスの直系大名や旗本に色目を使わなくとも、よそから外様さんが「フラスッポ」といってぢやんぢやんやつてくる……」

A「ふーん。変れば変わるもんだね……なるほど客観情勢わかつたよ。どうも近頃よそから生菌が続々バストスへ来るなと思つたが、ふーん、そうかぬ」
 B「そればかりじゃやない。バストスは土地が古い上にフラスッポだ。こりや僕が云わんでも周知の事實だ。今や桑園でさえも、大した収穫は期待できな」
 A「判りやすくいつて換金作物としてのバロールは？」
 B「そいつは六ヶ敷しい。たとえていうと、オ・クルス迎の桑園一アルケールで年間千五百ギロの収穫だとすると、バストス迎の桑園では半分以下だろうね」
 A「だから、バストスの養蚕家は倍効かなくて、よその人と対等の収入はないというわけだ。だからといって實際に倍は付けぬからプレッソで会社へくさいが、情勢が變つたからといって会社もこれまで長いこと忠誠をちかつた普代の大名、旗本に、そうつれなくもあたられまいし、ここが双方の泣きどころだ。それと、もう一つ、バストスには弱いところがある。例のネットイダだ。地中のギョングだね。この被害のため桑が充分のびないという話だ」

A「そいつは何とか手があらずうなもんぢね」
 B「葉はあるが、高くつくそうだ。肥料をやつて収量桑が少いというのは結定的な弱みだ。しかし、長い目で見ると、その畑もやがてやせるし、病菌も瀰漫する。これは日本のように、厳冬の期のない国のもつ運命だということになるな」
 A「ブラ拓さんは、そんな先のことまで研究しておられるようだが、ここ数年には収量は物凄く殖える観測で、新式の多條線系機をもう二、三台も輸入しようとしていゝ」

現に、その方の主任さん谷内氏が日本へ飛んでいゝ。バストスという不偏的な立場から見ると、堂々として静まつていゝように見える」
 A「ブラ拓さんが着々と準備を進めているのを見る時、すこく力強い気がするんだ」
 B「ああ、そりや、バストスが二十年前でマルボーズの畑になるとは決して思つていないよ。もう来年は四十年だからな」

子供短歌
 アサイ 栄野比節子
 ひろびろとしたパストにマルゴゾの花がさ、と明るく思ふ
 正月に妹は赤いさきものをきて
 あちらこちらと遊んでまわる

系音

皇室の思出 (2)

明治神宮 宮司

甘露寺受長

御愛馬・金華山号

あのころ、大正さまのおそばについていた人たちは、豪傑ぞろいだった。極陸軍少佐(後に中佐)のほかに、奥陸軍中将(後に大将、参謀総長)の中村陸軍少将(後に大将、参謀総長)の白だすき隊長(鷹司陸軍少将(元明治神宮宮司信輔氏)の父)など、侍従には私の叔父の勤解由小路(小笠原兩侍従、侍従には小見科の加藤博士(古川緑波の厳父)がいた。勤解由小路はエーモラスで、酒腕な人だった。十五歳くらい、とき内侍として明治天皇にお仕えしたが、いたずらものになるべつ下の下に床を敷いて寝ることになった。ある晩、目が覚めて寝たふりをして、陛下のベッドを足でボンボン蹴った。当時はよく地震があつたので、陛下はびっくりして起きられた。勤解の叔父は、これは大変と、いびきをかいて寝たふりをしたという話だ。また、大正さまの

東宮侍従となつてから、おそばに寝ていて夜中にかげぶと人を蹴飛ばし、殿下がお目覚めになつて、「寒い」といわれた。大正さまにお仕えして三年目の明治二十五年、千葉県三里塚の御牧場にお出になつたとき、私もお供をした。御料牧場は、明治さまのお指図でできた宮内省の牧場で、明治さまが馬について如何に深い関心をもつておられたか、その一つの現れであらう。明治さまのご乗馬は、幼少の頃からおはじめになり、京都御所内に今もつて馬場が残っている。明治神宮の宝物殿には、見事な木馬があるが、明治さまがこれに召され、手綱さばきの練習でもおそばに召されたかと考えられ、また昭憲さま(昭憲皇太后)にも、お馬のお手は、いまだに「金華山」の剥製を明治神宮にいたたき、いま神宮外苑の絵画館に飾つてある。御料馬には「市成」というのもあつたが、金華山はご愛馬の中のご愛馬で、明治九年、東北地方に巡幸のみぎりお買上げになつた純日本産で、毛色は月毛である。明治十三年からご料馬となり、明治二十八年に老衰して死ぬまでご用を勤めた。

聖市ルア・ガルボンブエーノ街二一二番七階

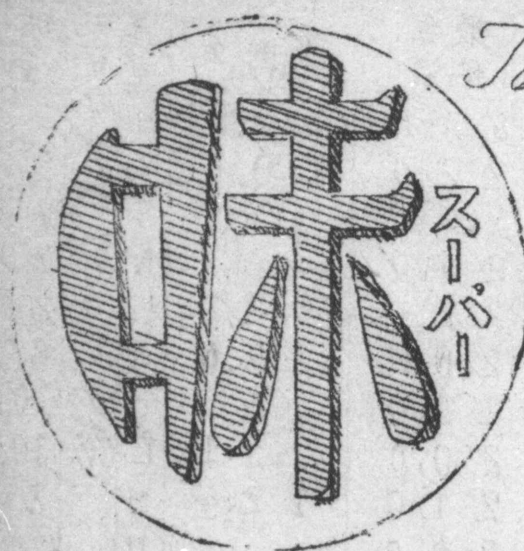
遠藤貿易株式会社

スーパー味 たべもの屋めぐり

中年向き
神戸「青葉」(うなぎ)

Tempero de Alta Qualidade 999%
Glutamato de Monosodio 999%

SUPERAGI



開店は三十数年前。当時ういういしかつた若嫁が、今やばあさんで陳頭指揮。小さい店だから実直で、うなぎのスツもよい。かば焼と吸物、ご飯、香の物で六百円。どんぶりの方は五百円。別に柳川鍋がでさる。三百円。それ以外は、おつまみ程度しかできない。うなぎ一スツといふわけである。うなぎはもちろんだが、吸物も気をいれて、しゃんとしている。振りかけのサンシヨの粉の入物以外、器物もわるくない。ただし、イスはみな、かけ心地がわるい。

湯豆腐とすき焼の季節となりました。スーパー味をきかして熱燗の日本酒は如何なものでしょうか。スーパー味は、どこの店にもあります。

項目	気温℃	湿度計℃	湿度%	最高気温	最低気温	降雨量mm	風向	天候	雲量
1	27.0	22.0	59	34.0	21.0		N	(1)	5
2	28.0	23.0	60	33.0	22.0	9.0	N	(1)	6
3	25.0	24.0	90	31.0	22.0		S	(1)	7
4	28.0	27.0	91	33.0	21.0		N	(1)	7
5	26.0	22.0	66	33.0	22.0	3 2.2	N	(0)	8
6	23.0	22.0	90	28.0	20.0	8.6	W	(0)	8
7	20.0	19.0	89	28.0	20.0	1.5	S	(1)	10
8	23.0	22.0	90	30.0	20.0	1.1	E	(1)	10
9	17.0	24.0	74	33.0	21.0	1 2.4	N	(0)	2
10	26.0	21.0	58	32.0	20.0		N	(1)	2
11	28.0	23.0	60	33.0			E	(1)	2
12	25.0	22.0	73	30.0	21.0	3 1.5	N	(0)	8
13	21.0	20.0	89	26.0	21.0	1.5	N	(1)	10
14	24.0	22.0	81	27.0	21.0	4.5	W	(0)	9
15	22.0	20.0	80	30.0	19.0		S	(1)	5
16	24.0	20.0	64	31.0	18.0		S	(0)	2
17	24.0	20.0	64	30.0	17.0		S	(0)	4
18	26.0	22.0	66	31.0	19.0		E	(1)	5
19	26.0	22.0	66	32.0	19.0		E	(1)	2
20	26.0	22.0	66	31.0	18.0		N	(0)	2
21	27.0	22.0	59	33.0	18.0		N	(0)	1
22	28.0	22.0	53	33.0	17.0		S	(0)	2
23	28.0	22.0	53	33.0	19.0		S	(0)	7
24	25.0	24.0	90	32.0	20.0	1 0.5	W	(0)	8
25	26.0	25.0	90	31.0	20.0		E	(1)	7
26	26.0	25.0	90	32.0	21.0		E	(1)	3
27	26.0	22.0	66	33.0	20.0		N	(1)	3
28	27.0	23.0	66	33.0	20.0		N	(1)	5
29	27.0	23.0	66	32.0	20.0		W	(1)	1
30	28.0	24.0	67	35.0	22.0		E	(1)	5
31	28.0	24.0	67	35.0	22.0		E	(1)	5
合計	795.0	695.0	2243	978.0	621.0	112.8			
平均	25.6	22.4	72	31.5	20.0				

功績馬だった。性質は実に従順、どんなときにも落着いた馬で、宮内省でとくに剥製にして保存したものである。

この人の心をはやくしる駒は、ものいうよりもあはれなりけり。

この明治さまの御製も、ご愛馬金華山についてお誂みになつたものと思ふ。

明治さまはよくご乗馬をお楽しみになつた。御殿内ばかりでなく、侍従や武官

たちと遠乗りをされ、小金井や大森方面にまでお出でになつた。小井や大森方面

にまでお出でになつた。小井や大森方面にまでお出でになつた。小井や大森方面

にまでお出でになつた。小井や大森方面にまでお出でになつた。小井や大森方面

にまでお出でになつた。小井や大森方面にまでお出でになつた。小井や大森方面

にまでお出でになつた。小井や大森方面にまでお出でになつた。小井や大森方面

にまでお出でになつた。小井や大森方面にまでお出でになつた。小井や大森方面

にまでお出でになつた。小井や大森方面にまでお出でになつた。小井や大森方面

てもらつたことがある。金華山はとて胸太だつた。私はもともと小柄であり、当時十三、四歳なので、股がいつぱい、ろがり、脚でしめることができなかった。ことを覚えていて、今日まで生きています。乗らして、世界で私ひとりだろうとほほえんでいる。

仙人掌 四月作品

四月二日、コチア村松下礼居にて例會、享氏夫妻の御好意で御馳走になり一同感謝。
句評なかなか辛辣、唐辛子のようだと大笑い。

唐辛子意地張り合うも飲み仲間
蠟燭や牛寄せに吹く角笛に
主婦が引く厨の窓の鳴子綱
泣き顔は見られたくなし蜻蛉翔ぶ
鳴子鳴るそばで童等泥鰌とる
牧草の狭めし路や蜻蛉晴れ
濯ぎ物はためきかわき赤とんぼ
日々米桶下るラジカや鳴子引く
馬の下くつてやんま往來す
花の如く色とりどりの唐辛子
唐辛子見れば泣く児よ糸ばなれ児
母が打つ手打ちうどんや唐辛子
糸音
南天子
北眠
寿和
勝南
桂子
工藤
真水
耕雨
札子

ある。ご料馬金華山について私はとくに思出がある。当時このご料馬をお預りして調教していただいたのは宮内省の技師で、車馬官という役目でなかつたかと思ふが、目方町迎の自宅に立派な馬場をもつていて、宮内省の馬を調教していた。私は、お学友の關係で乗馬を教えてもらいにそこへ通つた。そのとき幸せにも金華山に乗せ

Balcock

ハココック

B-3(1) 産卵鶏 3-390
白卵 赤卵



HOLZGREFE

ホルツグレップエ

肉用鶏

産業組合中央会

ヒナ注文申込又御問合せは

バストス産業組合

世界的經濟鶏

(皇室の思し出は)
 徳育重視のご教育
 また明治さまのご乗馬のお姿を拝見し
 たのも有り思出だ。大正さまのご参内にお
 学友としてお供をしたことがよくあつた
 が、大正さまと揚弓をしたり、吹上の
 池で舟遊びをしていらしたところへ明治さま
 がお出ましになり、ご満足げにご覧にな
 っておられた。ときには馬に乗つてこり
 れることもあつた。また御常御殿(平帝の
 お居間のこと)の内庭の先にあつたお馬場
 で、明治さまと昭憲さまが乗馬しておら
 れたことが、はつきり印象に残つてい
 る。明治さまは左だご乗馬がお好きであ
 る。ばかりでなく、当時馬匹の改良に深く御
 心を用いられた。それは早くから千葉県
 や北海道に牧場をお作らせになつたこと
 でもよく知られてい
 千葉県の三里塚御料牧場は明治十八年
 内務省から宮内省へ移管され、総面積は
 四千町歩で馬、牛、羊などが飼育された。
 また北海道には新冠御料牧場が設置さ
 れ、ここでは外国種を主に飼育していた
 と思ふ。当時は日本馬も外国種も牧草を
 食する量は同じだから、それなら体格の
 良い大きな馬に改良すべきだとの意見が
 採用されたとのことだつた。
 明治さまは馬事研究のために時の侍従
 藤波忠言や三里塚牧場の初代場長だつた

新山莊輪を海に派遣された。後に馬政局
 を設置されるようになったのも明治様の
 お指図によつたものだし、また日本競馬
 会に早くから天皇杯をたまわつてい
 るが、ほかにはカツプをお出しにならなかつた
 ことを見ても、如何に馬事奨励お力を注
 がれたかがわかる。大正さまも十歳ぐら
 いのころから馬のおけいこを始めた。お学友も
 馬のいっしょに教えを受けたが、お折の
 一番乗しかつた思い出は、赤坂御所の広
 芝で馬を乗りまわしたことだ。当時お学
 友は十五人おり、にぎやかな乗馬運動だ
 かつた。戦前のことだが、何かの必要上、
 侍従職記録を拝見した中に、お学友のこ
 とが記載されてあつたので、とてもうれ
 しく、書きとめておいたのがある。それ
 は明治二十六年の記録で、皇太子殿下の
 ご教育関係としての記事だつた。
 一学習院御用掛川田剛、学習院教授三田
 守真、同丸尾錦作、同湯本武比古、教授
 を命ぜらる。丸尾教授と湯本教授は交互
 に参候せしめらる。
 此日中等科に御遊般により元御学友高
 崎益彦、松平武、徳川義徳、甘露寺受長
 、西御従義、岩倉道俱、伊達新之助、北
 小路清、南部利祥、賜坂孝之助、海江田
 幸吉、建部光磨、細川護全、毛利八郎、
 谷儀一等十五名改め御学友となる。

十月三日以後毎夜交互宿直せしめらる。なおこの記録の終りに時の奥武官長の意見が載っていた。「道徳は天地の大本、智術は人生の利器、兩者相俟くども、道徳は正位、智術はこれに次ぐ」

このような記録を拜見して当時の御教育の方針が道徳に意を用いられたことを痛感している。明治十四年、侍講元田永孚に命ぜられて著された「幼学細要」をわれわれ学習院学生にたまわり、明治二十三年には教育勅語が發布されたが、その時の委員の中に川田剛先生が入つており、そのような先生が、われわれの教育の御用掛であるところからみても、徳育重視の方針が徹底していたのだらうと思ふ。

「美しかつたご成婚」
 こうして、われわれお学友十五人が中学校に進級と同時に再び送ばれて大正さまのお相手をする事になったのだが、ご乗馬のときがとくに楽しかつたように記憶している。われわれ仲間が馬が上手に上乗馬のときもよくできたが、その人も人はずいぶん上手で、その後日露の役で名譽の戦死を遂げたのは実に残念でたまらなかつた。この南部君は盛岡の藩主で名望もあつたので、国元の人たちが旧城内へ立派な銅像を建てて遺徳をしのいだ。

さて赤坂御所での御乗馬でよくご使用になつた広芝というのには、今日の東宮御所の御殿のあるところと、その西南につづく広い庭も含めての広い場所だが、もとは一面の芝生だつたのでそのようになつてつけたられた。明治六年、皇居が炎上になつたので、後の赤坂離宮の場所にあつた日本館にお移りになり、明治二十二年に皇居が完成されるまで、ここを仮宮殿としてお住みになつた。それで仮宮殿から谷を隔てた丘陵の芝生がご乗馬の場所となつた。

明治二十二年明治さまが皇居にお移りになつたあと、その仮宮殿が東宮仮御所となり、大正さまがお入りになられた。大正さまも広芝を御乗馬の場所とされ、われわれもそこで御相手申上げるようになった次第である。また時代は變つて、赤坂離宮が洋風の建物となつてからのこと、大正十二年の大震災のとき高輪東宮御所の一部が焼けたので、いまの陛下が赤坂離宮にご移転になり、またまた広芝で馬に乗せられた。

実に明治、大正、昭和の三代にあつて、ここが乗馬の場所となつたのである。私は明治さまのお相手は出来なかつたが、大正さまと今上さまのお相手をここで出したことを、折にふれてなつかしく思い出している。

大震災の翌十三年一月二十六日、今上さまと、久通宮外彦王の第一王女良子女王殿下とのご婚儀が行われた。東宮殿下二十三歳、良子女殿下は二十一歳で、殿下が賢所でのお儀式にお召しになるご服装は黄丹色の御袍だつた。ご成婚のお儀式をすまされ、皇居から赤坂離宮へお召ろいでお戻りになつたとき、美しい一對のおいなさまのようになつたと思わず涙にむせんだ。殿下のご新婚生活はここではじめられた。

FABRICA de GRANITO

C. POSTA. 23 FONE 515
 AVENIDA RIO BRANCO, ADAMANTINA
 CONSERTA - SE TUMURO

大西石碑工場
 大西文士
 古く墓碑もコンセルトいたします
 アダマンチーナ市リオブランコ通り
 日本式 ブラジル式
 墓 碑 記念碑
 胸 像 石 燈籠
 石 白 石材彫刻一切
 もちろん 保証付

RELOJOARIA TAKATA

腕時計は
 シチズン
 セイコー
 オメガ
 その他世界的水準のよい品を揃えています
 置き時計
 かけ時計
 電光フリコ時計
 めがね ゆびわ 貴金属いろいろ
 ロードビアリオ前
高田時計店
 電話 九三

子供に日本語を教えましよう
 公認 日本語学校

目録齒尿(勝ち負け物語) 十八

自警団

系音作

四六年三月四日、溝川専務が暗殺され、その皮切りとして、各所でテロが横行した。この中で、当局でもすておけず、かねてブラックリストにのっていた人達は、一滴に

検挙された。一旦聖市に送られ、取調べの上例外なく、リオのアンシエッタ島に隔離された。この島送りとなつたのは、臣道連盟加入者が多かつたようであるが、中には、ほんの一寸としたつまらぬ事柄のために、二年も三年も引っぱられた人もある。

バストスからは、臣道連盟で島送りになつた人は七八人で、外に他の党派からからもまじつていた。井上某という人などは、内心は、いざ知らず、表面はおとなしい人で、バストスの治安を直接妨害するようなことはなかつたらしい。只戦勝に熱心の余り、怪

ニースを盛に筆を、それを日本の軍隊の奉公衆の中に入れておいたのを取り上げられ、そんなことがひつかりとなつてバストス組では最後まで、とめおかれた模様である。臣道連盟の加入者によらず、勝組の人で

当局に引ばられると、大てい負け組の奴らのデモンシアによるものと思ひこめていたらしい。或は諺による物引も適挿もあつたであろうが、ブラシムといふよき様の法治国に居て、天下御免で殺人をやりに、天誅だなどと公言してはばかる事なく、痛快がることは、いかにも狂人沙汰であつたか、考えても見なかつたであらうか。

負け組が訴えたので引ばられたのだという考えは最後まで頭にのこり、いつまでも負け組を怨む心がかのこつていたようである。時がたつても、その執念は消えないようである。臣道連盟一味が本部を急襲され、各地の支部の頭株が検挙されて以来、不詳な事件は急に下火となり、テロリストたちは地下にもぐつて、いわゆる潜伏運動に移つたが、四六年七月頃までを境として表面平穩になつたもようである。

バストスの自警団は殺人容疑者に対し、て、間接に凶器の出所や共犯などを洗つた。その自供を促すため拷問を加えたという噂も流れた。勿論直手を加えたのは警官であつたらうが、非人情的行為であつたという非難だが、やる方では才三、才四のテロ行為を根絶するための止むを

アミールバ赤痢に御注意
○生水を飲まぬこと
近頃バストス市内にアメエバ赤痢がはやつてゐるとの事、その原因は水道源にあるのではないかと、この噂だが、この際生水を飲まぬ様に注意すること。今一つは市役所にも研究して頂いて一層消毒を励行するよう願つたいものである。ある物博りの話そのまゝ。

得ぬ手段だと考えていたらしい。事実自警団活躍中、マリリア方面の殺人犯が紛れこんで来て滞在したとか、物騒な時期であつたからであつた。バストス又では多小悪く言われつつも、自警団は所期の目的を果し、山中総指揮員

傷後もしばらく活動してはいたが、その年の九月にいつとはなく解散してしまつた。四六年の前年は、勝ち負けの争いが、口論からピストル沙汰に進展し、何人も生命が失われた。いわば最悪の時期だつたであらう。そういう経過を辿るものは予測できなかったが、勝ち組の氣勢が一時上つたのは、たとえ一時にもせよ、萃々しく、一体どんなことになるものかと、心あるものに危惧を懐かしめた事は、事實である。

天誅を加えんとするもの、被害者側のもの、こうなると、それぞれ色分けされてしまふ。にらみ合ひのまゝ数年を過ぎようになつたのは、やむを得ずと云い切るには余りにも馬鹿々々しい対立であつたやうだ。今や二十年余日の書話となつたが、往時をふりかへつて立派だつたとは、かりそめにも思えない。

何と馬鹿々々しいかがみ合をしたものであらうか。目録 齒尿をわらうの類で、全くなさけない次第であると思ふ。それにしては、信念というガンコな態度を、一時的に、事実に耳目を落つた勝組も、一時は怪ニースの創作も出来たであらうが、しまいに夕ネが切れて、同じことをくりかえしたり、科学的過妻の合

わめ問題がぶつかりたりして、遂に自派するに到つたが、しかし、戦後五六年立つてからも、色々な勝ち組が新しい看板を出して、改々とコロニアの中から立ち上つたことは、一体どう解釈したらよいものであらうか。たとえ、加藤某の如きピアジャンテとして名の通つた者が、急に皇族に早変

8
りをして、号令をかけたたりした事件もあつたが、そうして、その今下に馳せ参するツナチツコの人々が絶えなかつたことも、不思議という外はない。

そんなある日、私は用事で町へ出る途中、黒川さんという近所の人と道連れになり、四方山の話をして歩いてみると、その人が急に立ちどまり、あたりに注意しつづつ、
「オダさん、あなたに注意しておきますが、あんたも、もう目をさまさんと、いかぬですよ。あんたは大変な思いちがいをしてる」と、いうのであつた。
「何の話ですか？」と問うと、彼はさつと近づいて、
「近いうち総領事館がサンパウロに開設されることになってます。
日本がまけたなどいふものは全部名が拳がまけています。帝国に対する反逆者として処分されますぞ。早く今までの考えのまちがつていたことを自供するといいでず。私はあなたのために思いきつて注告します」と、真顔でいうのであつた。
「一瞬、私は世の中がさかさによりな錯覚を覚えた。」
（おわり）

柄にもない「小説」を書いて見ました。が、やはり、役不足で、筆力が足りませんでした。
もつと謊物として面白いものを空想的に立案して書いたのですが、だめでした。
おわび致します。

しんぼう(辛棒)という棒

勝甫

一昨日あたりから朝晩は肌寒い今朝、からだ中がとろけるよう柔い日射が店舗に備え付けのバンコまで伸びているのは何年ぶりの暑さを嘆いて居たまに深んだ秋が一度に押し寄せたのであろうか。
「どうだ、資金があつて、企画に間違のないのを確かめて実行して、それで成功しなかつた、というのには、欠けているものがある。判るか」と、古びたパナマ帽の下で日焼けした老人の皮肉な目が笑つて居る。
この親爺さん話は理屈ばい、ゴトモアがあつて人の気をそらすささい、つまりバストアの名物爺のひとりといえよう。
「つまりだ、と、こんどは立ち上つて手真似入りで話した。いつの間にかやら聴き手が三三人集つて来たので爺さん上機嫌で語り出した。
「金があつて計画に誤算がない企業に失敗するのは辛棒という棒が一本欠けてい

御禮
金十コントス也
ブラシリヤ移転に際し記念のため御寄付
ありがとうございます。
バストス 中央 区
橋元てい様

るから、判つたか、エヘヘ」笑いながら俺の背中をいやといふほどどやどやつけ、俺は口の中へ入れていたバラトセを叩かれた拍子に飲み込んでしまった。
「爺さん、具体的に説明してくれんとかうんじやないか」と聞いてみたら、
「わしがブラジルへ来た当時、一アルケルの土地が四百ミルジヤつた。仮にわしが十アルケル買つて、牛を五頭入れておいて、二十三年間殖えた牛を売つては土地を買い、パストを払って、その金を一文も外へ使わず辛棒したとしたら、ブラジル中におしぼどの成功者はないという計算になる。エヘヘ」わかつたか」とまたどやされた。
この爺さんのそばで居ると危なげな店主が横から
「爺さん、辛棒の棒は判つたが、泥棒の棒はどうだい」
「泥棒か、フム、泥棒でもエエぞ。目の先の欲をすてて、絶対に捕まらない完全犯罪を辛棒して二三年も研究して計画的にやつてみよ、成功まちがいないな。お君ッ」と聴衆のひとりを目を付けて、
「君んとこの区全部協同で道から下の全戸をセルカして牛を放したらどうだ。個人個人でセルカしたんじや金がつかつてやれん仕事も協同でなら簡単じや。牛を入れて十年もそのまゝにして置いたら、その速く金持村になるぞ。おししたら貧乏という棒がなくなるぞ」
「ハイハイ、しかし爺さん、区には外人も交つて居るからその話はむりだよ」
「馬鹿たれ奴、外人から土地を借りやいなだ土地を、いとわかたら実行して十年辛棒してみよ」と、こんどは低い声で「しかしな、貧乏するための辛棒はいい加減でエエぞ。たとえば、四百ミルで買ったミレーキが、一コントに値上りしても売らずに損する鶏に喰わす」といふような辛棒も考えにやいかんのう。辛棒の棒も使い分けられる力がなけりやいかんのう。判つたらしつかりせい」と、その人の背中をどやどやつけたら、
「ふふ、ついで陳列棚につかまつた。考えてみると、けん棒、泣きん棒、怒りん棒、喰いしん棒、びんぼう、と俺はすべて持ち合わせたが、辛棒はなかつたと思出し、真昼の道を俺はとぼとぼと帰つた

日本語を習いましょう

日本語のよみ書きを一時間習った位でブラジル語の成績が下るといふ道理はありません。昨年日語校の生徒で卒業式の時一位、二位で卒業した子供が居りました。

「日本語を習ってブラジル語の成績が下る」というのは一部の教師の片寄った考えからくるものです。

生徒自身日本語習ってブラジル語の成績が下る」と言う子供は一人もありません。一部の教師の片寄った考え方をうのみにする親の取越し苦労が子供の自信を失くするのです。

子供に自信を与え、日本語を習わせて下さい。

時期を逃したら後のまつりです。

○日語校ではいつでも受付ております

御知らせ

ハルエ美容院

私事此度一身上の都合で聖市に行く事になりましたので止むなくサロンを閉める事になりました。

長らくの間皆様よりの多大の御引立下さいましたことを厚く御礼申し上げます。

一々御伺いの上御挨拶申上げるべきで御さいます。失礼乍ら紙上を借り御知らせ申上げ、末筆乍ら皆様の御健康と御繁栄を御祈り申上げます

四月七日

河戸春江

各位様

お文様へアビーズ

男前製作所

散髪料金の事で色々ウワサが町村に流れておりますが、私の考と致しましては、郡内の経済状態が回復するまで当分の間去年の料金で行きます

AVISO AO PÚBLICO

O SALÃO MORI AVISA AO DISTINTO PÚBLICO QUE AINDA NÃO AUMENTOU O PREÇO DO BARBAS E CABELOS,

BARBA	N. CR# 0.50	M. CR# 1.30
CABELO	N. CR# 0.80	

ALGUÉM FALOU QUE SUBIU O PREÇO PERGUNTE DIRETAMENTE AO BARBEIRO. PREÇOS IGUAIS

髪剃料	N. CR# 50	センターホ
散髪料	N. CR# 80	センターホ
髪と散髪	1.30	センターホ

お客様が儲かる
皆様の
男前製作所

幸運近し。四月より開運月を迎う。皆様お楽しみ下さい。約中すれば必ず割当を差し上げます。

「当れば夜逃げする」というお客が多様ですが、それは不可能です。五百人以上のお客に監視されておりますから、御心配無用、御安心下さい

VENDE-SE CASA

売り家

住宅向き

(木造)

八室あり

格安に売り度し

希望者は

週報社まで

(姓名在社)

御ねがい

六六年度(昨年)の週報代末納の方々に御ねがい致します。当方より集金人が参上しませぬ故、御手数乍ら御出町の節御支拂い下さい

ハストス週報社

各位

Aviso de Cine Bastos 二本立

四月十一日(火)十二日(水)両夜とも八時
 日活 べらんめえ芸者 美空ひばり 志村喬
 天然色 透ちやんの若旦那 前帯しめるのに二時間半たつぷりとはい
 日活 憎いあんちくしよ 石原裕治郎 芦川いづみ
 天然色 東京、九州日本横断、二六〇キロ、青春の情熱を燃けて疾駆する裕治郎、
 四月十四日(金)八時 十五日(土)九時半
 東宝 暗黒街全滅 三橋達也 北あけみ
 佐藤 充 美枝
 四月十六日(日)九時半 十七日(月)八時
 東映 網走番外地 望郷篇 高倉健 嵐寛寿郎
 天然色 俺にもあったせうブを唄 今じゃ血だらけ傷だらけ、 田中邦衛
 四月十八日(火)十九日(水)両夜とも八時
 日活 青春お通り 吉永小百合 石原裕治郎 芦川いづみ
 天然色 カラッと明るくお茶目でちやっかり 吉永、浜田の最高コンビで躍る青春ロマン、
 四月二十一日(金)八時 二十二日(土)九時半
 東宝 海の若大将 加山雄三 曾我廼家明雄特別出演 重山規子
 天然色 夏雲の中かき若大将が又来たぞ、さあ 歌おう泳ごう 志をしよう、
 四月廿三日(日)九時半 二十四日(月)八時
 華麗絢爛 小判鮫 お役者仁義 美空ひばり 林与一
 総天然色 二人ひばりが契一と組んで 白夜をいろどる落花白刃の三枚絵
 そのまま料理が出来る プラシダのフランチ 阪東・古沢商店 アバテド一口でお求め下さい

岩手県人に御知らせ

今般母県より岩手県海外移住家族会長
 江刺家磐男氏、岩手大学教授並に岩手
 県拓植連合会事務局局長稲田憲次郎氏
 植されることになされた。江刺家教授
 は學術調査、移住者調査に稲田局長は
 特に單身移住青年の独立営農資金、結
 竹問題について、当バストスへも四月
 廿日着の通知を受けましたので皆様御
 家族とも多数参集下さいますより御案
 内申上げます。

岩手県海外移住家族会長 江刺家磐男氏
 岩手大学教授 岩手県拓植連合会事務局長 稲田憲次郎氏
 右両氏バストス着

日時 四月廿日午後二時
 場所 森川食堂
 なるべく多数参集下さるよう
 お願い申上げます。

岩手県人会
 バストス世話人

どうしろ俳句会の作品

かねて谷口製米さんが号令をかけ、金
 の話や政治の話ばかりでは興がない。一
 つしろうと俳句会でもやるのではな
 提案に依りて、去る四月六日夜通社
 サロンに集った人々総勢十六人、この中
 には俳句はどんなものやら知らぬ人、見
 たことばあるという程度の人、もちろ
 句会などに出席した人は皆無である、そ
 れでは句会にならぬので二三人指揮者
 まじって始めたところ、はじめのう
 は中々の成績で、これなら物になるわ
 と大いび、双児 18点 竹馬 17点 弥太郎
 15点 柳里 13点 立花 13点 大量得点
 満悦というところ、作品を御披露

訪う家の名を忘れたり垣の菊
 露葉を刈りて仰ぐや残月 柳馬
 声かけて見知りぬ人か月明り 立花
 夜半の月墨絵の断を見て通り 尺見
 眠る街 行くは釣人 月あかり 早川
 菊の香や望み叶いて殿下まつ 前山
 満月と右に左に汽車の旅 光明
 ドナマリア活けし大輪の菊白く すわ
 月を愛で花と育てて老たぬし 眞水
 燈消して昔話や 窓の月 米子
 早勤のわが影長し ありの月 話太郎